

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70160
事業名	持続可能な雪対策推進費					
評価担当課	所 属	建)土木部 雪対策室計画課			電話番号	011-211-2682
施策名	市民・企業・行政の連携やICTの活用などにより、市民の多様な					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	雪対策を取り巻く環境は、生産年齢人口の減少が加速する中、担い手である建設業においても従事者の確保が難しくなっており、その確保や育成が喫緊の課題となっている。
	事業内容(何を実施し)	【①ICTを活用した作業の効率化・省力化の取組】 ・既存2人乗り除雪機械への安全補助装置の設置や、1人乗りが可能な除雪機械の導入 ・雪堆積場等選定システムの構築 ・除雪作業日報作成支援システムの改良 ・雪堆積場等搬入ダンプ台数自動集計システム(室内型)の一部運用 【②その他除排雪作業の効率化・省力化の取組等】除排雪体制や既往手法の分析など、生活道路除排雪の在り方検討の実施 ・効率的な手法検討に向けた、生活道路除排雪の試験施工の実施及び検証 【③広報・啓発】冬のくらしガイドの全戸配布のほか、テレビ、ラジオ等の様々なメディアを活用した広報・啓発を継続的に実施 【④ボランティア・雪体験授業等】 ・小型除雪機の貸出や購入補助など、除雪ボランティア活動への支援を継続的に実施 ・札幌雪学習や雪体験授業など教育機関等と連携して雪対策への理解促進等に繋がる取組を継続的に実施 【⑤融雪施設設置資金融資あっせん】敷地内に融雪施設を設置する場合に、融資を受けた際の利子を負担する制度を設けることで、地域との協働による雪処理への支援を継続的に実施 【⑥除雪機械整備】昨今の物価高騰による除雪機械の価格の高騰などの背景を踏まえ、除雪事業者の動向も見極めながら、市保有機械の増強及び更新を継続的に実施
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民・企業・行政の連携やICTの活用などにより、市民の多様な暮らしを支える交通環境が保たれているとともに、持続可能な除排雪体制の下での冬期道路環境の確保
	他都市の状況	近年、他の自治体においても作業の効率化や省力化、労働環境の改善などを図るため、業務書類の電子化等、ICT活用の取組が進められている。
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	920,380 千円	うち特定財源	634,523 千円	正規職員業務量	11.5 人工
令和5年度予算額	898,150 千円	うち特定財源	629,599 千円	正規職員業務量	11.4 人工
令和5年度決算額	871,362 千円	うち特定財源	501,869 千円	正規職員業務量	10.6 人工
令和6年度予算額	1,170,878 千円	うち特定財源	555,636 千円	正規職員業務量	14.7 人工

指標	アウトプット活動指標1	除雪事業者への研修会等への実施回数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1回	3回	3回	3回	3回	3回
	↓						
	アウトカム成果指標1	1人乗りが可能な除雪機械台数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		175台	218台	197台	304台	347台	390台
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	1人乗り可能とするためには安全補助装置の設置が必要であり、業者保有車については令和5年度より設置を進めている。業者保有車については、各除雪事業者の意向により設置していることから、今後も研修会等を通じて装置の設置促進に努めていく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	雪対策を取り巻く社会環境の変化に対応しながら、持続可能な雪対策に向けて取組を推進していく。